

中村かつき

県政報告書 #vol.7

中村かつき



●田主丸事務所
〒839-1233
福岡県久留米市田主丸町田主丸459-2
TEL: 0943-73-3755 FAX: 0943-73-3588

●六ツ門事務所
〒830-0031
福岡県久留米市六ツ門町2-13-2F
TEL: 080-3900-0546 FAX: 0942-32-0227

謹賀新年

今年初めての県政報告書を、昨年に引き続きお届けいたします。昨年末の福岡県議会 12月定例会では、補正予算や条例改正を始めとする31件の知事提案があり、慎重審議の結果、総ての議案が原案可決いたしました。

補正予算の概要は、地域経済の活性化と成長発展、新型コロナウイルス感染症対策などに必要な経費を処置するものです。

そのなかの、インバウンドの県内宿泊・観光を促進するための予算9400万円は、先の9月定例会の決算特別委員会で私が指摘した事項の対策として新規に充てられたものであるなら嬉しいし、自信に繋がります。

いよいよ4年間の県議会の任期も2月定例会を残すのみとなりました。私は補欠選挙当選者ですから2年の任期しかありませんが、残された期間の職責を全力で全うしてまいります。どうか、これからも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、心よりお願いいたします。



12月定例会傍聴に参加いただいた皆さん



久留米市技能奨励者等表彰式祝辞



知事といきいきトーク in 久留米

12月補正予算の概要

地域経済の活性化と成長・発展

■事業継続の支援

- ◆地域商品券の追加発行により消費需要を喚起 18億2780万円余
- ★福岡県版 Go To Eat 食事券を発行 21億円
- ★米麦の共同乾燥調製施設における燃料購入経費を支援 2910万円余
- 「新たな福岡の避密の旅」観光キャンペーンを継続 66億9320万円余
- ★県制度融資に「経営改善借り換え資金」を創設 500万円

■危機に強い経済構造の実現

- ★インバウンドの県内宿泊・観光を促進 9430万円余
- ◆農業DXを推進 4億840万円
- 天神中央公園の護岸、樹木などのライトアップを実施 債務負担行為1億円

■中小企業への支援

- ◆経営革新を推進 2億600万円余
- ◆新製品開発等を支援 9080万円余
- ★デジタル化を支援 7010万円余
- ★事業承継を契機とした新たな取組を支援 2100万円余

■農林水産業への支援

- ◆高性能機械・設備導入により生産性を向上 30億7010万円余
- 八女茶やマダイなどの輸出を拡大 10億1300万円余
- 麦・大豆の生産体制を強化 1億2600万円
- ★野生イノシシの豚熱検査体制を強化 1000万円余

■将来の発展基盤の充実

- 基幹幹道道路を整備 54億8620万円

新型コロナウイルス感染症対策

■新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備え、医療提供体制を強化

- ★オンライン診療センターを開設 11億6740万円余
- ★発熱外来の混雑状況を確認できるシステムを構築 420万円余
- ◆休日・夜間に診療・検査を行う発熱外来等に協力を給付 2億7000万円
- ◆PCR等検査費、患者医療費の自己負担分を支援 40億5420万円余
- ◆無症状者への無料検査を実施 21億4670万円余
- ◆年末年始の帰省者等への無料検査を実施 7600万円
- 学校等における感染防止対策を支援 13億9630万円余

次代を担う「人財」の育成

- ★飲食店におけるマネジメント人材を育成 2890万円余
- ★農業高校においてDX人材を育成 2660万円余
- ★公立中学校における休日の部活動の地域移行を支援 500万円余

安全・安心の確保

■安全で安心な地域づくり

- ★子どもの送迎用バスへの安全装置の導入を支援 14億8770万円
- ★子どもの送迎における安全管理徹底のための研修を実施 1050万円余
- ★妊娠から出産・子育てまでを一貫して支援 65億8510万円余
- 生活福祉資金特例貸付の償還に係わる相談支援体制を強化 570万円余
- ★靈感商法の被害防止のための啓発を強化 440万円余
- ★マイナンバーカードの出張申請サポートを実施 7090万円余

■防災・減災、県土強靱化

- 緊急輸送道路等を整備 120億8190万円余
- 洪水・土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を推進 208億3560万円余
- ため池等の安全対策を実施 44億2860万円余
- ★盛土規制区域の指定のための調査を実施 290万円余

県議会議員選挙

- 県議会銀選挙に向けた準備 5億1730万円余

給与改定

- 人事委員会勧告に基づく給与改定を実施 27億8730万円余



一般質問は裏のページをご覧ください

NEXT ▶▶

- ★=新規項目
- ◆=拡充項目
- =継続項目

一般質問（一部抜粋）

病児・病後児保育の推進

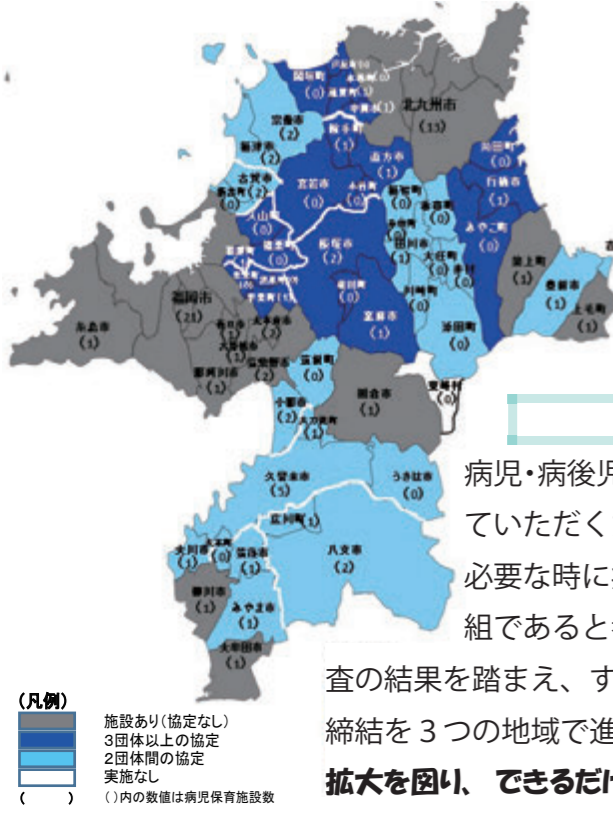
病児・病後児保育とは…子供が体調を崩し、保護者も仕事を休めない等看護を行えない時に病気の子供を一時的に預かってケアをしてくれる施設です。現在福岡県の病児・病後児保育施設は80施設ありますが、市町村毎に偏りがあり、設置している市町村は60市町村中30市町村だけです。基本的に病児・病後児保育は、設置している市町村の方のみの利用できますが、県内の30市町村は病児・病後児保育の設置がないため、利用協定を結んでいる市町村の病児・病後児保育施設を利用しています。

01 県内全域での病児・病後児保育の受入を!!

近くの施設が満員で、職場の近くで預けたい等居住地以外の施設で預けたい場合は、市町村同士の利用協定の締結もしくは助成金を自分で負担するため値段が高くなります。既に大分県等4県では県内全域で利用協定を結び県内全ての病児・病後児保育を利用できるようになっています。本県も県内全域の広域受入いくべきではないでしょうか。知事の考えをお聞かせください。

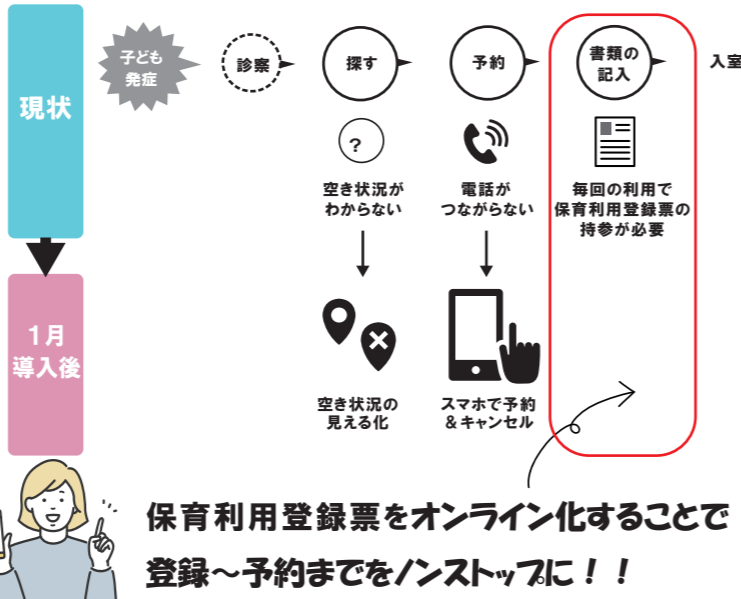
知事答弁

病児・病後児保育は、共働き世帯やひとり親世帯の方々が安心して子育てを行っていただくための重要なセーフティネットであり、どの市町村に住んでいても必要な時に病児・病後児保育を利用できるよう広域化を図ることは、重要な取組であると考えている。今年度は、市町村や病児・病後児保育施設への意向調査の結果を踏まえ、すでに協定締結している市町村グループ同士の更なる広域利用協定の締結を3つの地域で進めている。今後とも、**市町村など関係者と協議しながら、広域協定の拡大を図り、できるだけ利用したい地域で病児・病後児保育の利用ができる環境を目指している。**



02 病児・病後児保育をより利用しやすい環境に!

1月上旬に予定している病児保育支援システムでは、スマートフォン等のオンライン上で施設を探し、予約することができます。しかし、現在利用する際に必要な登録書類（病児保育利用登録票）は自治毎に違う様式のを紙で提出する必要があります。様式を県内統一し、登録から予約までノンストップでオンライン上で可能になれば、保護者にとって病児・病後児保育がより利用しやすいものになるのではないのでしょうか。知事の考えをお聞かせください。



知事答弁

今回、県が構築中のシステムを利用するためにはアカウントを登録する必要があり、その登録情報と市町村の利用登録情報の多くは重複することとなる。**利用登録の様式統一及びオンライン化については、アカウント登録をすることで、市町村の利用登録を省略することができるような運用を検討するなど、今後、課題を調査した上で、市町村と協議してまいります。**

03 病児保育施設を増やすため県独自の施策を!

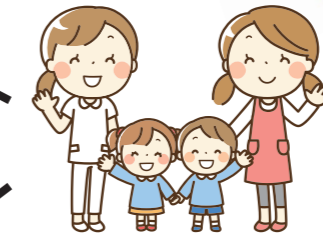
病児・病後児保育施設の数を増やしていくべきと考えますが、子の病児保育は利用者が日々変動するため、全国の6割以上の病児・病後児保育施設は赤字です。そのため、新規参入が難しく普及が進まないのが実態です。仕事と子育ての両立の環境を整えていくには、本県も財源を含めた事業所の創意工夫を後押しする対策の強化が必要だと考えますが、知事の考えをお聞かせ下さい。



知事答弁

今回の県によるシステム導入により、施設の事務負担の軽減や稼働率の向上が見込まれ、病児・病後児保育事業の運営の安定や新たな施設の増加が期待される。こうした取組が、施設の運営にどう影響を及ぼすか、実態を把握してまいりたいと考えている。

久留米市・うきは市の病児・病後児保育施設一覧です。ご活用ください!!



久留米市・うきは市の病児病後児保育施設
聖マリア病院「マリアン・キッズ・ハウス」
久留米大学医療センター「エンゼルキッズ」
ハイジア内科「ハイジア病児保育室」
田主丸中央病院「たのっしーランド」

空き家対策

① 福岡県版空き家バンクの充実を!

福岡県版空き家バンクとは各市町村の空き家情報を集約し、横断的に空き家を比較できるサイトのことです。

11月末時点で各市町村の空き家バンクの物件数は**490件**ありますが、福岡県版空き家バンクは**67件**と**14%程度**の情報しか掲載されていません。情報の集約が進まない理由、今後の対応について知事の考えをお聞かせください。

知事答弁

集約が進まない理由としては、他市町村の物件情報との比較検討を望まない市町村が約半数あることや、宅建事業者の登録手順に対する認識不足などにより、県版空き家バンクへの登録が行われていないケースがあることなどが挙げられる。今後、市町村に対しては、担当課長会議などにおいて、県版空き家バンクに関する周知を引き続き行うとともに、他市町村との比較検討を望まない市町村に対して、意見交換を行い理解を求めている。また、宅建事業者に対しては、事業者団体と連携して、物件登録の手順などについて更なる周知を行い、県版空き家バンクへの登録件数を増やし、空き家の利活用促進につなげてまいります。

② 福岡県空き家活用サポートセンター（イエカツ）の活用を!

専門知識を有する相談員が、空き家の所有者等に対する相談対応から、その活用・処分の具体的な提案、さらには専門業者とのマッチングまでをワンストップで対応するイエカツを福岡県アクロス内に設置しています。【問合せ】TEL:092-726-6210

